

# 平成20年度 学校評価(自己評価書)

学校名	旭川市立明星中学校	校長名	高柳 知己
-----	-----------	-----	-------

※【評価方法】 全教職員による自己点検・自己評価を実施し、さらに生徒や保護者アンケートの結果を踏まえて、成果と課題及び改善方を明らかにした。「評価」欄については、各項目を4点満点で点数化し、その平均値を示すとともにA～Dの4段階で評価した。

大項目		評価項目 小項目及び指標	評価			成果と課題及び改善の方策
重点目標		① 「わかる授業」を展開し基礎・基本の確実な定着に努めている。	★★★★☆	3.43	B	家庭・地域との連携協力の下、確かな学力と豊かな心の育成に向けた取組が徐々に成果をあげてきている。今後、新教育課程への移行をスムーズに行い、知・徳・体の調和のとれた教育課程の編成・実施に努めるとともに、地域の教育力を活用するなど、より一層開かれた学校づくりを推進する必要がある。また、年度の重点目標をさらに焦点化し、PDCAサイクルを生かした学校評価により、具体的な学校改善に努めたい。
		② 集団活動を通して望ましい人間関係や社会性の育成に努めている。	★★★★☆	3.46	B	
		③ 「開かれた学校」づくりに向け積極的な情報の発信に努めている。	★★★★☆	3.43	B	
教育 指導	1 学習指導	① 生徒の発達段階や実態に即して指導内容を重点化し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。	★★★★☆	3.33	B	TTによる指導や放課後学習教室「ブリッジ」などにより、基礎・基本の確実な定着と家庭学習の習慣化を図る取組に努めている。今後、学校支援ボランティア等の活用を図り、より一層個に応じた指導の充実に努めたい。
		② 問題解決的な学習や体験的な学習を重視し、複数教員による指導や個に応じた指導など指導方法の工夫・改善に努めている。	★★★★☆	3.37	B	
	2 生徒指導	③ すき間のない指導体制のもと実態に応じたきめ細かな指導を行い、規範意識の高揚と基本的な生活習慣の定着を図っている。	★★★★☆	3.54	A	すき間のない生徒指導を基本に全職員の協働体制により、生徒が落ち着いて安心できる学校生活の確立に努めている。今後、より一層基本的な生活習慣の確立を図るとともに、教育相談の機能を生かした心に響く指導の充実に努めたい。
		④ 日常的な教育相談や学級活動を通して心の触れ合いに努め、自己指導能力を育てる積極的な指導に努めている。	★★★★☆	3.32	B	
	3 道徳教育	⑤ ボランティア活動や豊かな体験活動を生かして内面的な自覚を促し、道徳的な実践力を育てている。	★★★★☆	3.29	B	道徳の時間をはじめ、学級活動や全校集会等、全教育活動を通して内面的な自覚を促す指導に努めている。今後一層、各教科等との有機的な関連を図り、体験活動やボランティア活動等を通して道徳の実践力の育成に努めたい。
		⑥ 道徳の時間を要として各教科等との関連を図り、生徒の実態に即した重点的な指導に努めている。	★★★★☆	3.04	B	
	4 特別活動	⑦ 望ましい集団活動を通して個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てている。	★★★★☆	3.22	B	生徒会主体のボランティア活動や特質ある学校行事等を通して、生徒が自ら取り組み成就感や有用感を実感できる活動に努めている。今後一層、学級を基盤に話し合い活動を充実させ、望ましい集団づくりに自主的・自発的に取り組む態度の育成に努めたい。
		⑧ 学級活動を基盤に話し合い活動を充実させ、リーダーとフォロワーの育成や、学校生活の向上に取り組む望ましい集団の育成に努めている。	★★★★☆	3.30	B	
	5 総合的な学習	⑨ 育てようとする資質や能力を明確にし、生徒が自ら学び主体的に問題を解決しようとする力を育てている。	★★★★☆	3.32	B	CWN講座を中心に、学年の枠を超えた本校の特色を生かした総合的な学習の時間の実践に努めている。今後、より一層地域の教育環境を生かした横断的・総合的な課題の解決に取り組むとともに、発表会等の工夫に努めたい。
		⑩ 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、地域の人的・物的環境を活用した指導に努めている。	★★★★☆	3.50	A	
	6 体育健康指導	⑪ 心身の健康と安全に関する意識を高め、たくましい心と体づくりに自ら取り組む実践的な態度を育てている。	★★★★☆	3.26	B	魅力ある体育的行事の工夫や養護教諭による発達段階に応じた保健指導など、生徒自ら健康安全に関する意識を高める指導に努めている。今後一層、家庭との連携の下、生活習慣や食に関する指導等の充実に努めたい。
		⑫ 養護教諭と各担任、学校と家庭との密接な連携のもと、心身の健康や望ましい生活習慣など健康意識を高める指導に努めている。	★★★★☆	3.54	A	
	7 進路指導	⑬ 進路指導の全体計画に基づき、自己の将来の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択しようとする態度を育てている。	★★★★☆	3.22	B	学年の発達段階に応じ、3年間を見通した進路学習の推進に努めている。今後、望ましい勤労観や職業観の育成に向け、職業講話等の体験的な活動を重視し、実際の職業について学ぶ機会の拡充に努めたい。
		⑭ 地域の教育資源を活用した体験的な活動を取り入れ、望ましい勤労観や職業観の育成に努めている。	★★★★☆	2.67	C	
	8 情報教育	⑮ 情報教育の全体計画に基づき、コンピュータなどの機器を有効活用し、情報を適切に処理し活用する力を育てている。	★★★★☆	3.46	B	情報教育の全体計画に基づき、専門的な知識・技能を有する教員による指導により、計画的な指導に努めている。今後、より一層道徳や特別活動等との関連を図り、外部講師を活用するなどして情報モラルの育成に努めたい。
		⑯ 情報化社会における望ましい情報の収集や発信の在り方など情報モラルの育成に努めている。	★★★★☆	3.18	B	
	9 特別支援教育	⑰ 特別な支援を必要とする生徒の実態把握と生徒理解を深め、一人一人の教育的ニーズに応じた教育環境を整備している。	★★★★☆	3.50	A	生徒理解研修等により、特別な支援を必要とする生徒の実態把握に努め、個々の成長・発達を支援する体制づくりに努めている。今後、より一層コーディネーターを中心として支援委員会を活性化させ、個に応じた指導の充実に努めたい。
		⑱ コーディネーターを中心とする校内委員会を機能させ、組織的な特別支援教育の推進に努めている。	★★★★☆	3.29	B	
	10 部活動	⑲ 部活動の意義や目的を踏まえ、生徒の自主性・自発性を重視して心身の健全な育成を図っている。	★★★★☆	3.50	A	複数顧問の指導の下、学校教育の一環として豊かな人間性や社会性の育成を目指し、各部の特性を生かした活動に努めている。今後、財源確保の問題や部活動の再編についての検討を加え、目的を達成できる条件や環境の整備に努めたい。
		⑳ 今後の部活動の在り方についての検討を図り、部活動の実施に係る条件や環境の整備に努めている。	★★★★☆	3.18	B	
教育 経営	1 校務運営・組織	① 校務分掌、特別委員会などの構成や業務内容等は、学校に実態に即して適切に組織、運営されている。	★★★★☆	3.57	A	各分掌間や学年間の連携が円滑に行われ、業務内容を明確にした上で適切な業務の遂行に努めている。今後、教育目標の実現に向け、各所管事項の重点的な取組を明らかにし、具体的な改善充実に努めたい。
		② 学校教育目標の実現に向けPDCAサイクルに基づく実践と検証を行い、組織体として機能する運営に努めている。	★★★★☆	3.48	B	
	2 学年・学級経営	③ 生徒一人一人の居場所や存在感を実感でき、個や集団の成長を促す活力ある学年・学級経営を行っている。	★★★★☆	3.56	A	学年の発達段階に応じた計画の下、相互に情報を共有し合い、協働体制で活力ある学年・学級経営に努めている。今後、学校教育目標の具現化に向け、個や集団の確かな成長を促すとともに、秩序と安定を図る学年・学級経営に努めたい。
		④ 学年・学級目標及び経営計画は生徒の実態を踏まえ、学校の教育目標や重点目標の具現化を目指して設定し、検証と改善に努めている。	★★★★☆	3.30	B	
	3 研究・研修	⑤ 「確かな学力」の育成に向け、生徒の実態を踏まえた研修テーマのもと、組織的な研究の推進を図っている。	★★★★☆	3.57	A	2年次目を迎えた研修テーマのもと、授業交流等を通して教師一人一人の指導力の向上に努めている。今後、より一層指導と評価の一体化を図り、基礎・基本の確実な定着に向けた指導方法の工夫改善に努めたい。
		⑥ 授業交流など日常的な実践交流により、自らの指導力の向上を図るとともに、研究の成果が生徒に還元される研究の推進に努めている。	★★★★☆	3.75	A	
	4 教育環境整備	⑦ 清潔で快適な環境や潤いのある環境づくりなど、生徒が学習・生活しやすい環境の整備を図っている。	★★★★☆	3.50	A	老朽化が目立つ校舎内外の施設設備にあって、定期的な点検・補修により生徒の学習や生活に支障のないよう環境の整備に努めている。今後、大規模な改修は望めないことから、環境美化活動等による清潔で潤いのある環境づくりに努めたい。
		⑧ 校舎内外の施設設備の点検が定期的に行われ、維持・営繕及び安全管理に努めている。	★★★★☆	3.68	A	
	5 家庭・地域連携	⑨ 学校だより、学年・学級だより等の各種通信や印刷物が、学校からの情報として効果的に発信されている。	★★★★☆	3.64	A	学校・学年・学級だより等の定期的な発行、ホームページの開設など、学校からの積極的な情報発信に努めている。今後、より一層学校を開くとともに、PTA活動や学校支援地域本部事業等を通して学校と家庭・地域が連携協力する体制の確立に努めたい。
		⑩ 学校生活上の諸問題にかかわり、双方向のコミュニケーションを図り、家庭・地域との連携協力による指導に努めている。	★★★★☆	3.43	B	